

H28年4月撮影

水源地にある この産業廃棄物最終処分場は…新井総合施設(arax)君津環境整備センターといいます。 現在、第Ⅲ-2 処分場の完成に向けて、計画地の山林を伐採し、山肌を削り工事が着々と進んでいます。

第 I 期処分場は、有害物質を含む 保有水の漏えい事故が 2012 年に発覚し、千葉県より是正勧告を受けその後、搬入停止の状態のままです。雨水の侵入を防ぐために、真っ黒な遮水シートで覆い、溜まっている保有水をポンプアップしていますが…汲み上げても 汲み上げても、その水位が下がらない状態のままです。

未だに、有害物質を含む保有水の漏えい事故の原因の究明も・従って改善対策の実施もなされていません。 それなのに、千葉県は、第Ⅲ期処分場の増設を許可しました。

第 I 期処分場が事故を起こしたことで、第 II 期処分場の廃棄物の埋立てが予定より早く進んだことにより処分場の完成を急ぎ、第 III-1 処分場を完成させ、現在は第 III-2 処分場建設が急ピッチで進められています。この第 II 期処分場が完成すると、日本最大規模のものとなります。そして、生命・身体・健康に重大な被害を及ぼす危険性のある、 ダイオキシン・重金属などの多種多様な有害物質や放射性物質を含む産業廃棄物が持ち込まれます。

この、最終処分場のある場所は…

千葉県君津市怒田 643-1 林道を一本 隔てた場所は… 『梅ヶ瀬渓谷自然環境保全地区』『大福山北部自然環 境保全地域』指定されています。

その周辺は、処分場から出る ひどい臭気が漂い、気分が悪くなるほどです。

そして、この処分場の保有水は、処理施設で基準濃度に 調整されてから上水道水源である小櫃川の支流・御腹川に 流されています。



『千葉県自然公園自然環境保全地域まっぷ』を一部加工